

Voice 声

認知症 地域の皆で見守りを

医師 花戸 貴司

(滋賀県 43)

近江商人の心得「三方よし」、つまり、売り手よし、買い手よし、世間よし、の精神は、商売だけでなく、様々な場面で大切です。

愛知県で認知症の男性が徘徊中に電車にはねられ亡くなりました。裁判所は、男性を世話していた妻らに見守る責任があったとして、鉄道会社へ賠償金を支払うように命じました。「事故は予見でき、家族が注意義務を怠った」との判決理由でした。

私は地域の医師として認知症の方やその家族の支援をしています。認知症と診断されても症状を和らげるためには、自分の記憶にある住み慣

れた地域で、気心の知れた家族とともに過ごすことが必要なのです。そのためには家族だけでなく、医療者・介護者を含め、地域の皆で互いに見守っていくことが大切なのです。

今回の判決をみると企業や司法の方々には「自分」と「相手」の考えしかないようです。ですが、私はどのような業種や立場であっても、「三方よし」の精神が必要だと思っています。今からでも遅くはありません、公共交通機関として「世間よし」を意識した企業であることを示すことは可能ではないでしょうか。

裁判所も、認知症の人々が安心して生活できるよう「地域」に目を向けようではありませんか。